

2017年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 職員会議報告  
(2017.1.1～2017.12.31)

番号	チェック項目	総合評価	改善目標、工夫している点など
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	A	適切なスペースを確保している。
2	職員の配置数は適切であるか	A	基準人員数より多くのスタッフを配置しているが、研修などにより質の向上に努める。
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	A	バリアフリー化している。
4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画し	A	月に2回程度の会議・研修を目指す
5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	A	今後もアンケートを定期的実施していき 保護者様の意向等を把握していくこととする。
6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	A	結果はホームページで公開している。
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	C	放課後等デイサービスネットワークや他施設とも相談し、第三者外部評価を行うか検討する。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	B	不定期で行っていたものを最低でも月2回の研修を行うようにする。
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	A	定期的な保護者面談などの情報をもとにサービス計画を作成している。
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	A	標準のアセスメントフォーマットを利用しているが、必要に応じ家族構成などいくつかの点で改良している。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	B	現在はチームとしてプログラム作成をしていないが、利用児童の増加に伴いチーム分けの検討をする。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	A	全体会議の中で改善案を検討している。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	B	平日は、プログラム通り支援している。休日・長期休暇はレクリエーションの予定が多いが、雨天など予定が変更になった場合の課題をもう少し細かく設定の検討が必要と思われる。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	B	計画は出来ているが、来所の児童により難しい場合あり。再度検討する。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	A	朝のミーティング時だけでなく、メモにて連絡をしている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	A	終了時のミーティング時だけでなく、メモにて連絡/共有している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	B	毎日の記録にスタッフが目を通し、検証/改善を考え、会議時に検討していく。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	A	会議で行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	C	今までガイドラインの活用をしておらず、今後より活用していく。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	A	一番よく把握している担当スタッフが参画している。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	A	混雑時も含め随時変更の可能性がある場合は、事業所経由で連絡をとっている。

22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	A	発生事案は無いが、連絡体制は出来ている。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	B	保育所や幼稚園やこども園との連携は保護者からの要望等がなければ行っていない。他施設やネットワークと相談し今後を検討した。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	A	まだ具合的事案がないが、移行する場合は情報提供を保護者の同意の基行う体制がある。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	A	相談事務所や区の研修に参加している。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	B	ネットワーク会議でも事案であがり、近々に活動をいくつか実施。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	A	区の協議会へはネットワークを通じ参加している。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	A	面談や児童の送迎時に行っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	C	ペアレントトレーニングは行っていないが、各施設や相談事務所と相談の上、検討する。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	A	利用初回時となるが、説明を行っている。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行うか	A	随時保護者からの相談を受け付けている。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	C	父母会の支援や開催は難しく、保護者参加のレクリエーション開催に留まっている。保護者の意向もあるが検討していきたい。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	A	苦情受付の体制は出来ている。連絡があれば迅速かつ適切に対応する。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	C	不定期の連絡のみであったので、定期的な会報にて情報の発信をしていく。
35	個人情報に十分注意しているか	A	シュレッターの使用、また事業所外での個人情報の話はしないよう常に注意を促している。
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	B	障害のある児童や保護者の方との接し方/話し方等を含め研修の機会を設ける。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	C	高齢者施設との交流はあるが、地域住民の招待等は行っていない。ネットワークとも打合せして決めていきたい。
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	B	職員には各周知している。また保護者には契約時にしているが変更時などの周知はしていない。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	A	年2回の火災避難訓練で行っている。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	A	虐待も含めた研修だったが、虐待単独の研修機会を現在は行っている。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	C	面談時に拘束の可能性がある場合には事前に説明を行う。またサービス計画を作成する際に記載する。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	A	食物その他のアレルギーや服薬などに関しては当日の連絡帳と口頭指示の2本立てとしてい
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	A	ヒヤリハットがあるたびに情報を共有している。